

昇龍

- しょうりゅう -

龍藏寺便り
第03号

2021.3



TOPIC

- ◇コロナ禍でのお正月 〈青柳大師元三会〉
- ◇節分会—転禍為福・新型コロナ早期終息祈願—
- ◇コラム：元三大師について
- ◇境内整備のご報告

コロナ禍でのお正月

—青柳大師 元三会大縁日—

令和三年一月三日、「元三会大縁日」を執り行い、当山でお祀りする元三大師さまの秘仏ご開帳に併せ、厄除け護摩供を終日念される中での開催となり、世間でも、神社から「分散参拝」が呼びかけられるなりました。本年は、新型コロナウイルスの影響が懸念される中での開催となり、世間でも、神社でコロナ禍でのお正月の迎え方が話題となりました。

当山では、当日お参りに来られる方も、心配事なく新年を迎参りが叶わない方も、心配事なく新年を迎参りました。当日は、皆様のご協力もあり、ホームページの設、郵送での対応等、様々な対策を講じて無参開えお事に行事を執り行なうことが出来ました。魔事なくお正月を迎えたこと、改めてお感謝申上げます。今後も皆様が安心して無参開えお参り出来るよう、整備に努めて参ります。



▲秘仏の元三大師像は、一年に一度、一月三日のみご開帳されます。



▲1月16日掲載。上毛新聞社発行子ども新聞「風っ子」



▲龍藏寺蔵「元三大師御影像」

ちょつと寄り道
仏教コラム
元三大師について



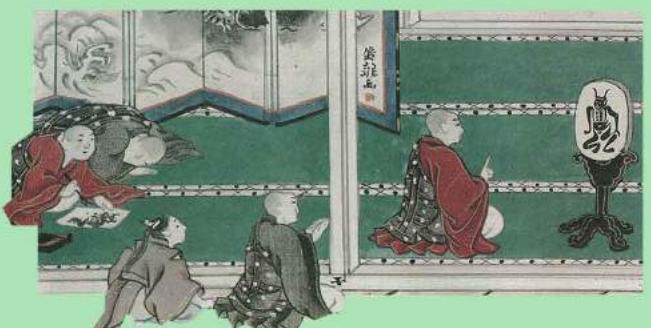
角大師の伝説

当山でお祀りする、元三大師。元月（一月）三日に亡くなられました。このことから、元三大師と呼ばれます。元三大師の名前は、良源（がんざんだいし）さま。十八代天台座主として当山でお祀りしていましたが、生前の名前は、良源（がんざんだいし）さま。元三大師さまは非常に

強い靈力をもつていたとされ、厄除けのお大師さまとして、多くの伝説が残されています。

その中でも特に有名な話が、角大師（つのだいし）の伝説です。

永觀二年（九八四年）、都で疫病が蔓延した際、良源さまは人々を救おうと鏡の前で坐禅を組みました。すると、鏡の中で姿が、みるみる骨ばかりの鬼の姿へと変わっていました。良源さまはその姿を写し取ったお札をつくり、お札を民家に配布し、戸口に貼るよう伝えました。そうしたところ、病気になりました。良源さまは「角大師」と呼ばれ、疫病除けとして広く信仰されるようになりました。当山でも、お大師さまの力にあやかり、「角大師」の姿が描かれた紙札や、厄除けお守りを



▲「元三大師絵伝記」より。鏡に映る良源さまの姿が、鬼の姿となっている。左には、それを書き写す僧侶の様子も。



▲当山限定「角大師」お守り。



▲青柳大師に祀られる神鏡。令和2年、約80年ぶりに修復を行った。

お作りしています。龍藏寺にお越しの際は、是非、元三大師さまが祀られている、大師堂をお参りください。

節分会法要の様子を動画でご覧いただけます



▲上記QRコードより、YouTubeのサイトにアクセスできます。
※4月いっぱいまでの限定公開



▲節分会限定「転禍為福」御守り。

令和三年二月二日、節分会を執り行いました。境内での豆まき・投げ物頒布は自粛し、規模縮小での開催と致しました。法要では、護摩供と共に、般若經典六百巻を空境内でめくる「大般若転読」を行い、皆様の転禍為福（てんかいふく）【禍い転じて福と為す】と、新型コロナウイルスの早期終息をご祈願致しました。今回の法要では、御札をお申込みいただいた方に、手にする御札がどのようにご祈祷されたか、動画にてご覧いただく試みを致しました。この寺報にも動画のコードを載せておりますので、皆様にご覧いただければ幸いです。



▲護摩壇から火があがる中、僧侶達により一斉に大般若転読が行われました。

節分会にて「転禍為福」祈願
密を避け法要動画配信も

境内整備のご報告

本堂トイレのリフォーム

本堂トイレは作りが古く、男女の区別もない状態であつたため、以前より改善を求めるお声をいただいておりました。今回、トイレのリフォームを行い、元々のスペースを活用しながら、男女別室とすることが出来ました。



▲入口扉と手洗い場も新調しました。



▲男女別にご利用いただけるように。

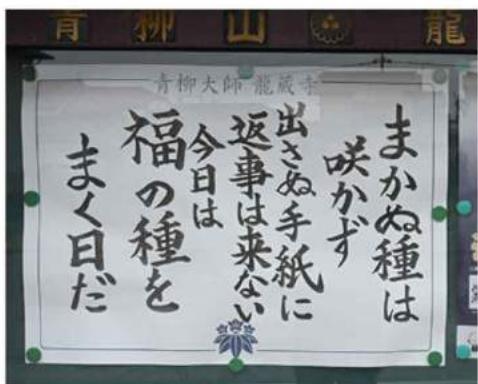
本堂前植え込みの整備

本堂前の植え込みを整備し、「金閣寺垣」と呼ばれる垣根を設置いたしました。垣根の中に砂利が敷かれ、さわやかな景観となりました。



▲整備前の植え込みの様子。
うっそうとし、やや暗い印象。

▲(左右とも) 整備後の様子。すっきりとした景観に。



▲「今のことば」は、随自更新予定。



▲赤門の脇に掲示板を二面設置。

掲示板では、当山の行事案内等に加えて、住職・副住職による「今のことば」を掲示しています。随時内容を更新して参りますので、お寺にお越しの際は是非ご覧ください。

門前掲示板の移動

発行日	令和三年三月十七日
発行人	眞木 興遼
編集人	眞木 興空

編集後記

お彼岸は昼と夜の時間が同じ長さであるため、彼岸（あの世）への距離が一年で一番近くなる時期であると言われます。春に向かい寒さも和らぐ中、お彼岸を迎えると、仏様やご先祖の御靈に触れる温かさを、より強く感じるようになります。本年は東日本大震災から十年になります。仏様に包まれながら、辛い想いをされた方々の「こころの復興」も進んでいくことを、改めてお念じする次第です。

青柳大師龍藏寺 公式ホームページのご案内

行事や活動についての情報やお寺の歴史や由緒を紹介しております。是非一度ご覧ください。



←左のコードを読み取っていただきか、「青柳大師」で検索ください。